

第 659 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

「フリートーク」
(今年 1 月～6 月に放送したラジオ・テレビ番組及び
放送全般について意見交換)



令和 2 年 7 月 28 日

BSN新潟放送

第 659 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 2 年 7 月 28 日 (火) 午前 11:00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6 F

3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長 古賀 豊
委 員 石坂 智恵美
委 員 渡邊 信子

副委員長 佐藤 元
委 員 小島 良子

○審議番組事前レポート提出

委 員 高木 言芳
委 員 馬場 幸夫

委 員 殖栗 道郎
委 員 三井田 由香

○委員側欠席者 (敬称略・順不同)

委 員 稲荷 善之

○放送事業者側出席者

社長 佐藤 隆夫
メディア本部長 五十嵐 幹史
情報センター長 小湊 潤

専務取締役 島田 好久
編成局長 莢部 秀治

事務局 金山 英功 (編成局テレビ編成部長)

4. 議題

1 報告事項 ・ 8 月、 9 月の番組について (各局長)

2 審議番組 ・ 「フリートーク」

(今年 1 月～ 6 月に放送したラジオ・テレビ番組及び、放送全般について意見交換)

5. 議事の概要

各局長からの 2020 年 8 月・ 9 月度番組報告に統いて、フリートークで今年 1 月から 6 月に放送したラジオ・テレビ番組 (自社制作番組・ TBS 等ネット番組) 及び放送全般について意見交換が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 新型ウイルス禍、テレビ番組ではリモートでの出演が増え、カメラや出演者の居場所の確保など、スタッフの苦労があったことと思う。リモートになったことで、出演者は対応力が試されたのではないか？
- イジメにつながりそうな、ふざけた番組は作ってほしくない。子供たちは「これをすればみんなが笑う」と勘違いし、イジメにつながる。
- 6月28日サンデーモーニング「風をよむ」のコーナーでは、「コロナと温暖化」がテーマだったが地球温暖化で永久凍土が融けることにつなげて感染症が語られ、今私たちが知らなければならないことをきちんと伝えたいという、作り手の良質な意図を感じられた。SDGsの視点からも正しく危機感が伝わってきた。
- 「ひるおび」等でトイレットペーパーの在庫はたくさんあると業者のコメントが流れるものの、スーパーマーケットなどの売り場の棚が空っぽの映像が流れる、買いに行かねば、と誤解されるのではないかと感じた。ウイルスに危機感を感じる中で、混乱したデマなどの情報に惑わされることなく、冷静に判断して行動するよう視聴者に対して影響の大きいテレビの力を発揮してほしいと感じた。
- インターネットやSNSの情報がこれだけ溢れている時代であってもテレビに対する信頼度は依然高い。フェイクニュースのような内容の排除、客観的かつ多面的な見方を発信するなど、局側も信頼に応える責任があると考える。
- 新型ウイルスの影響で多くのドラマ制作が遅れ、過去の人気作品の再放送などが行われた。そのことで、人気が再確認されたものがあったことが興味深いところ。
- 「水曜見ナイト」「なじラテ。」など、レギュラー番組が定着しつつあり、喜ばしいことではあるが、内容がご当地グルメなどに偏っており、マンネリ化が心配。
- これまで、メディアは多くの自然災害や事故を報道してきたが、全て限定的な地域が対象でそれ以外の地域が支援する形が取れた。しかし、今回のウイルス禍は世界中の人々の健康と経済活動がセットになっている。このような状況下、民放（BSN）がなすべきことは何か？今こそ一度原点に立ち返ってほしい。

【文責・番組審議会事務局】